

人権週間

平成30年12月4日～10日



人権週間には「命と人権」をテーマに、全学年で人権について考えました。全校朝会では、校長先生から「かけがえのない命を輝かせるためには、いつも心が明るく元気であることが大切。もし、友達に悪口を言われたり、意地悪をされたり、仲間はずれにされたりすると心は悲しく、楽しくありません。友達に対する思いやりの気持ちを持ち、自分がされて嫌なことは友達にしないようにしなければいけません。そして、友達の心を悲しませることとして、相手を傷つけるような言葉遣いをしてはいないか考えてみよう」と話がありました。

校長先生、そして各学級では担任の先生からの話を聞き、子供たちは自分で考えた「人権標語」づくりに取り組みました。



人権について考える、
良い機会となりました。



1. 2年生は「あいさつ」

3年生から6年生は「言葉づかいと友達」をテーマに標語を書きました。

書いた標語は各学級の廊下に一斉に掲示しました。



人権標語作品紹介

1年生「あいさつを ていねいにいうと きもちいい」

2年生「ありがとう 言うとみんなが ほらえ顔」

3年生「ばかなどは いわれていやだ いわないよ」

4年生「いい言葉 心もハッピー うれしいな」

5年生「あなたと私 言葉を考え 話したら 笑顔の花がまた一つ」

6年生「助けたい そんな考えが増えたなら
どれほど素敵で 救われるだろう」